

★チャレンジ！夢に向かって★

＊ ～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

全国学力・学習状況調査を行いました！！

秋田に学べ。全国学力テストで第1位（小6）の秋田県。少人数制の授業、早寝早起き、予習・復習は自宅でしっかり。好成绩を生んだ、秋田の子どもたちの生活習慣に学びたいものです。

これは、かつて首都圏の電車で貼られた大手学習塾の車内広告です。この広告を目にし、私は秋田県民としてうれしくなりました。

昨日、小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。文部科学省によると、全国で約202万人が参加したそうです。（能登半島地震で被害を受けた石川県輪島市の小・中学校と17日に震度6弱の地震があった愛媛県や高知県の一部の学校を除く）

小学校では、国語と算数の2教科の調査が行われました。調査問題をみると、知識・技能を問う問題をはじめ、知識・技能の実生活への応用力や課題解決力などを問う問題が出題されていました。

調査に臨んだ6年生の様子を参観しました。マークシート方式の解答になかなか慣れない児童もいましたが、みんな真剣に答案用紙におかっていました。難しい問題にも挑戦し、できるだけ空欄をつくらぬよう努力していました。眉間にしわを寄せて取り組んでいる児童もいれば、何度も見直しをしながら問題を解いている児童もいました。



今年度から生活習慣や学習環境等に関する質問調査は、端末を通じて答えるオンライン方式で実施します。実施日は4月23日（火）です。再来年度以降の調査からは、小学校でも端末を使った新しい方式での調査に移行する予定になっています。日々の授業や家庭学習等で端末を使うことが、これまで以上に必要になると思います。

都道府県別正答率等の結果は、7月末に公表される予定です。全国学力・学習状況調査は、平成19年度からはじまりましたが、目的や意図に応じて自分の考えを書いたり、複数の資料から必要な情報を読み取って判断したりすることに苦手意識をもっている子どもが多いことが課題としてあげられています。本校では、今回実施した全国学力・学習状況調査の問題や結果を分析し、子どもたちにどのような力が不足しているかを把握しながら授業改善に生かしていきます。

お願い

4月21日（日）7時30分から第1回資源回収を行います。御協力の程、よろしくお願い致します。